

NEWS RELEASE

クレジットカード不正利用防止のための取引保留に関する消費者意識調査を実施(昨年度より継続) ~取引保留を「よく知っている」消費者は 12.2%留まり、消費者はより「速やかな保留の通知と解除」を求めている

2021年2月19日

日本クレジットカード協会(略称 JCCA、会長 中西 章裕 ユーシーカード株式会社 代表取締役社長)は、昨年度に続き、なりすましによるクレジットカードの不正利用防止策としての取引保留(以下、セキュリティ保留。下記 <参考>ご参照)について、全国のクレジットカード保有者(20歳~59歳の男女)を対象にインターネットによる意識調査を実施しました。調査の結果、セキュリティ保留を「よく知っている」は 12.2%(昨年度調査では 15%)に留まり、昨年度と同様に認知度の低さが課題として浮き彫りになりました。

また、セキュリティ保留経験者に対し、セキュリティ保留時のカード会社の対応への満足度について尋ねたところ、「申し分なく安心できた(71%)」「連絡が早かった(68%)」「すぐ再開された(67%)」と概ね高評価でした。

さらに、セキュリティ保留に求める機能として「保留の通知(69%)」「自身で解除できる(49%)」のニーズが高く、利用者はより「速やかな保留の通知と解除」を求めていることが分かりました。

本調査結果を踏まえ、JCCA ではクレジットカード会社によるセキュリティ対策についてクレジットカード利用者に広くご理解をいただけるよう周知活動を継続していくとともに、安全・安心にご利用いただける環境整備を引き続き行ってまいります。

<参考>なりすましによるクレジットカードの不正利用未然防止対策としての取引保留とは・・・

クレジットカードの不正利用を未然に防止し、利用者に安心してカードをご利用いただくために、クレジットカード会社が利用者に利用内容の確認が取れるまで一時的に取引を保留することです。本対応は、過去の不正利用のケースと類似する場合や、利用者のご利用パターンとは異なる点が見受けられる取引を検知した場合に、カード会社の判断で実施するものです。

1.調査概要

なりすましによるクレジットカードの不正利用の増加に伴い、クレジットカード利用者を不正利用から守るため、クレジットカード会社は取引の保留を行う場合があり、同保留の認知度や評価、ニーズの調査を行いました。

【回収サンプル数】1,032 サンプル 【調査時期】2020年11月10日(火)~11日(水)

2.調査結果のサマリ

No	調査項目	調査結果
1	カード不正利用の認知・	「よく知っている(32.8)」「なんとなく聞いたことがある(59.8%)」と 9 割以上が不正利
	被害の経験	用の存在を認知。未遂も含む被害経験(21.4%)は昨年度(17.8%)より増加。
2	セキュリティ保留の認知・	セキュリティ保留の認知度(54.7%/「なんとなく」含む)は昨年度(59.7%)より減少。
	経験	コロナ影響による消費行動自体の減少も理由と考えられるが、引き続き低水準。
3	セキュリティ保留の認知経	認知経路上位は、1 位テレビ、2 位ニュースサイト、3 位周囲の人の話、4 位カード会社の
	路	メール。普段の情報源との差分(3 位 LINE、4 位動画サイト)を踏まえた啓発が重要。
4	セキュリティ保留時のカー	カード会社の対応は「申し分なく安心できた(71%)」「連絡が早かった(68%)」「すぐ
	ド会社・加盟店の対応	再開された(67%)」と概ね高評価。
5	セキュリティ保留において	「保留の通知(69%)」「自身で解除できる(49%)」のニーズが高く、利用者が求める
	今後望む対策	「速やかな保留の通知と解除」を念頭に置いたサービスの改善等が必要。

3.設問と調査結果(抜粋)

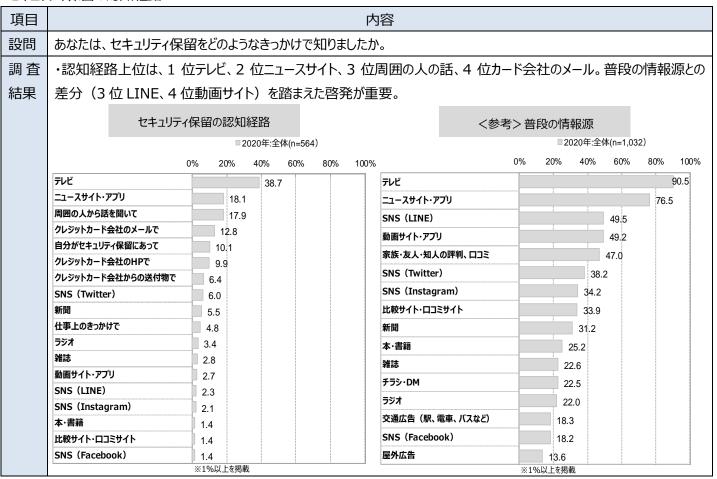
■クレジットカード不正利用被害の経験

項目	内容												
設問	近年、フィッシングサイトや偽の決済フォームからクレジットカード番号等の個人情報が抜き取られ、不正利用に用いられ												
	るケースが増えております。あなたはその様な不正利用が存在することをご存知でしたか。												
調査	・「よく知っている(32.8)」「なんとなく聞いたことがある(59.8%)」と 9 割以上が不正利用の存在を認知。												
結果	■よく知っている □ なんとなく聞いた <i>こ</i> とがある □ 知らない												
	認知 n= 0% 20% 40% 60% 80% 100% 率												
	2020年 (1,032) 32.8 59.8 7.5 92.5												
		時系列		2019年	(1,032)	33.0		58.4	8.5	91.5			
			カード	毎日	(45)	46.7		42.2	11.1	88.9			
			利用頻度	週7未満週1以上	(471)	35.0		59.0	5.9	94.1			
		2	2	2	別	週1未満月1以上	(516)	29.5		62.0	8.5	91.5	
		0 2 0 年		20代	(258)	28.7		58.9	12.4	87.6			
			年代別	30代	(258)	32.6		58.9	8.5	91.5			
			41000	40代	(258)	30.2		65.1	4.7	95.3			
				50代	(258)	39.5		56.2	4.3	95.7			
			性別	男性	(412)	43.0		51.0	6.1	93.9			
			الركايا	女性	(620)	26.0		65.6	8.4	91.6			
	※認知率(「よく知っている」+「なんとなく聞いたことがある」)												

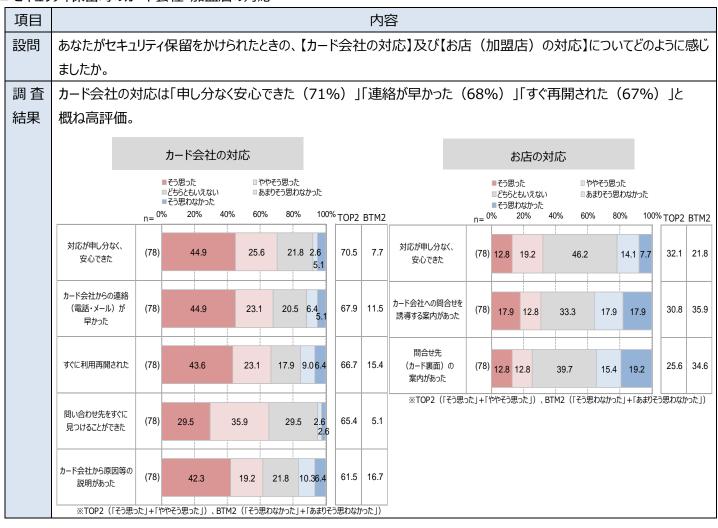
■セキュリティトの理由によるクレジットカード取引の保留の認知率

711	レノンユ	-Шісе о	フレンツロ	ガーいれつい体	田の心内	1学						
内容												
近年、クレジットカードの不正利用が増加しているため、クレジットカード会社はクレジットカードのセキュリティ上の理由によ												
る取引の保留というものを行っております。あなたはその保留をご存知でしたか。												
・セキュリティ保留の認知度(54.7%/「なんとなく」含む)は昨年度(59.7%)より減少。コロナ影響による消費行動												
自体の減少も理由と考えられるが、引き続き低水準。												
■よく知っている □なんとなく聞いたことがある ■知らない												
n= 0% 20% 40% 60% 80% 100% 認知率												
		時玄別	2020年		(1,032)	12.2		42.4		45.3		54.7
	时未列		2019年		(1,032)	15.0		44.7		40.3	3	59.7
	時系列 × カード 利用頻度別		2020年	毎日	(45)	3	33.3		42.2		24.4	75.6
			2019年	毎日	(56)	16.1		42.9		41.1		58.9
			2020年	週7未満週1以上	(471)	12.3		44.8		42.9		57.1
			2019年	週7未満週1以上	(460)	16.3		48.7		35	.0	65.0
			2020年	週1未満月1以上	(516)	10.3		40.3		49.4		50.6
			2019年	週1未満月1以上	(516)	13.8		41.3		45.0		55.0
			20代		(258)	14.7		39.1		46.1		53.9
		在代則	30代		(258)	12.0		39.1		48.8		51.2
	_	+ 1000	40代		(258)	10.9		40.7		48.4		51.6
-			50代		(258)	11.2		50.8		38.	0	62.0
	- 1	W-DII	男性		(412)	16.3		44.9		38.	8	61.2
	.	נימבו	女性		(620)	9.5		40.8		49.7		50.3
							*	〈認知率 (「よ	く知ってい	る」+「なんと	なく聞い	たことがある」)
	近年 る取・ ・セキ	近年、クる取引の・セキュリ自体の	近年、クレジットカる取引の保留とい ・セキュリティ保留の 自体の減少も理 時系列 時系列 メカード 利用頻度別 2 0 年代別 2 0	近年、クレジットカードの不る取引の保留というものを行いてキュリティ保留の認知度 自体の減少も理由と考え 時系列 2020年 2019年 × 2020年 カード 2019年 × 2020年 カード 2019年 20	近年、クレジットカードの不正利用が増加しる取引の保留というものを行っております。あいてキュリティ保留の認知度(54.7%/「など自体の減少も理由と考えられるが、引き続います。 時系列 2020年 毎日 2019年 毎日 2019年 毎日 2019年 毎日 2019年 週7未満週1以上 2019年 週1未満月1以上 2019年 週1未満月1以上 2019年 週1未満月1以上 2019年 週1未満月1以上 20代 30代 40代 50代 9門性	近年、クレジットカードの不正利用が増加しているためる取引の保留というものを行っております。あなたはそりではよりでは、1000円の減少も理由と考えられるが、引き続き低水道をは、1000円の減少も理由と考えられるが、引き続き低水道をは、1000円の減少も理由と考えられるが、引き続き低水道をは、1000円のでは、10000円のでは、10000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円ので	近年、クレジットカードの不正利用が増加しているため、クレる取引の保留というものを行っております。あなたはその保留・セキュリティ保留の認知度(54.7%/「なんとなく」含む)自体の減少も理由と考えられるが、引き続き低水準。 日本の減少も理由と考えられるが、引き続き低水準。 日本の減少も理由と考えられるが、引き続き低水準。 日本の数分の	近年、クレジットカードの不正利用が増加しているため、クレジットる取引の保留というものを行っております。あなたはその保留をごでいてキュリティ保留の認知度(54.7%/「なんとなく」含む)は昨年自体の減少も理由と考えられるが、引き続き低水準。	大字 大字 大字 大字 大字 大字 大字 大字	内容 近年、クレジットカードの不正利用が増加しているため、クレジットカード会社はクレジ る取引の保留というものを行っております。あなたはその保留をご存知でしたか。 ・セキュリティ保留の認知度(54.7%/「なんとなく」含む)は昨年度(59.7%)は 自体の減少も理由と考えられるが、引き続き低水準。 よく知っている なんとなく聞いたこと できるの 15.0	近年、クレジットカードの不正利用が増加しているため、クレジットカード会社はクレジットカードであ取引の保留というものを行っております。あなたはその保留をご存知でしたか。 ・セキュリティ保留の認知度(54.7%/「なんとなく」含む)は昨年度(59.7%)より減少。こ自体の減少も理由と考えられるが、引き続き低水準。 「ローのではなりではないではないではないではないではないではないではないではないではないではない	近年、クレジットカードの不正利用が増加しているため、クレジットカード会社はクレジットカードのセキュ る取引の保留というものを行っております。あなたはその保留をご存知でしたか。 ・セキュリティ保留の認知度(54.7%/「なんとなく」含む)は昨年度(59.7%)より減少。コロナ影自体の減少も理由と考えられるが、引き続き低水準。 「ローのではなりではないでは、なんとなく聞いたことがあるが、知らないでは、なりでは、なりでは、なりでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ない

■セキュリティ保留の認知経路



■セキュリティ保留時のカード会社・加盟店の対応



■セキュリティ保留において今後望む対策

項目	内容										
設問	会計・決済時にセキュリティ保留がかかると、一時的に会計・決済ができなくなります。この場合はカード会社に電話等で										
	連絡し、保留を解除してもらう必要がありますが、以下のような機能変更案も検討されています。あなたが欲しいと思う機										
	能を全てお答えください。										
調査	「保留の通知(69%)」「自身で解除できる(49%)」のニーズが高く、利用者が求める「速やかな保留の通知と解										
結果	除」を念頭に置いたサービスの改善等が必要。										
	80%										
	n=30以上の場合										
	[比率の差]	~~~	40%								
		20年:全体+10ポイント	20%								
		20年:全体 +5ポイント	0%								
	202	20年:全体 -5ポイント		2.セキュリティ保 留がかかった場合	1.セキュリティ保	4.セキュリティ保留の対象金額設	5.セキュリティ保 留がかかったカー	3.セキュリティ保 留を使用都度解			
	202	20年:全体-10ポイント	n=	の通知機能	できる機能	定機能	ドの差替機能	除する機能			
	2	020年:全体	(1,032)	68.6	48.8	26.4	22.4	18.1			
	カード	毎日	(45)	55.6	48.9	22.2	20.0	17.8			
	利用頻度別	週7未満週1以上	(471)	74.7	49.7	28.0	25.9	19.7			
	13/13/22/35	週1未満月1以上	(516)	64.1	48.1	25.2	19.4	16.7			
		20代	(258)	66.7	49.6	29.1	19.4	19.4			
	年代別	30代	(258)	63.2	48.1	32.2	26.4	19.0			
	, , , , , ,	40代	(258)	73.6	46.1	20.2	21.3	17.1			
		50代	(258)	70.9	51.6	24.0	22.5	17.1			
	性別	男性	(412)	66.5	49.5	24.8	19.9	19.9			
		女性	(620)	70.0	48.4	27.4	24.0	16.9			
	セキュリティ	よく知っている	(126)	73.8	50.8	27.8	23.0	22.2			
	保留認知別	なんとなく知っている	(438)	66.7	47.9	28.1	21.9	19.9			
		知らない	(468)	69.0	49.1	24.4	22.6	15.4			
	セキュリティ	経験あり	(78)	64.1	48.7	21.8	26.9	19.2			
	保留経験別経験なし		(434)	72.1	48.8	30.0	21.4	20.7			

日本クレジットカード協会

ホームページ:<u>http://www.jcca-office.gr.jp</u>

